

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 八木 嘉之 様

議会報告会 企画総務消防常任委員会 班

八木 嘉之

開催日時	平成30年1月16日(火) 19時00分～20時30分
開催場所	彦根勤労福祉会館 4階 大ホール
出席議員	安藤 博、谷口 典隆、和田 一繁、上杉 正敏、 八木 嘉之、獅山 向洋、西川 正義、野村 博雄
参加者数	滋賀大学経済学部学生・教授 23人、参加者 10人 委員以外の市議会議員 5人、議会事務局職員 4人、計 42人
内 容 (内容及び時間配分)	第1部 若者の定住促進に係る彦根市の取組について説明 第2部 若者の定住促進について意見交換(ワークショップ形式) (時間配分) 19:00 開会挨拶 19:05 司会者 19:10 第1部 彦根市の定住促進に係る予算などを説明 19:20 第2部 滋賀大学生がファシリテーターを務め、6班に分かれてワー クショップ形式による意見交換会 20:20 まとめ、閉会挨拶、アンケート記入
	<第1部> ○彦根市の定住促進に係る予算について ○彦根市の取組について ① 地域おこし協力隊の活用 ・移住コンシェルジュの活動として 久保氏の活動 ・観光コンシェルジュの活動として 渡邊氏の活動 ② 彦根市移住促進補助制度 ・家賃等補助制度 ・住宅取得費補助制度 ○先進地の取組事例 企画総務消防常任委員会として先進地視察した、愛媛県西予市の「地域おこし協力隊を活用した移住促進について」の調査結果を報告

<第2部>

テーマ別に6班に分かれて、滋賀大学生がファシリテーター（滋賀大学経済学部との連携協定に基づき）を務め、ワークショップ形式で意見交換を実施した。

テーマ1) 子育てし、働くために必要な支援は？

政策提言：共働きの家庭が安心して子育てができる環境を整備する。

主な意見→住まいに最も身近な地域で子どもを見守れる環境を整備する／保育士の充実と病児保育の充実（看護師確保）を図る／保育の無償化を進める等

テーマ2) 若者に魅力的なイベントとは何か？

政策提言：食を生かしたイベント。イベントに関わりたい人が参加できる仕組み。大学対抗のイベント。琵琶湖周辺のイベント。特典付きのSNSを発信。

主な意見→主催者が固定している／彦根城とひこにゃんに頼りすぎ／イベントのマンネリ化／規模が小さいイベントが多い等

テーマ3) 県外・市外から来る大学生に定住してもらうために何がいる？

政策提言：市で4年間彦根にいる学生に回生ごとに彦根の魅力をアプローチする。

主な意見→彦根の人が学生に彦根を売込む／彦根をベッドタウンに／彦根の魅力をつくる／職人志望の学生と彦根の職人をつなぐ等

テーマ4) 呼び戻せ、地元の人！ソフト面とハード面、何をどうする？

政策提言：老若男女全ての市民が安心して集える語り合える場所づくり

主な意見→安心して住めるまちを／犯罪や事故の少ないまち／歩道の整備／親子で遊べる施設／雪や雨でも活動できる場所等

テーマ5) 住みたいまち彦根には、どんな生活インフラの整備が必要？

政策提言：ボランティア運転手の確保。各自治会が自分たちで雪かきできるように体制を整える。

主な意見→街灯が少ない等道路環境の整備が悪い／車やバイク以外での移動するのに不便／駐輪場が少ない／車椅子でも生活しやすいように

テーマ6) 空き家の有効活用、何をどう使う？

政策提言：市が学生の意向を調査すると同時に空き家の情報を積極的に発信する仕組みをつくる。

主な意見→交通機関、文化、環境、仕事の面から彦根のまちについて意見抽出／学生が定住したくなるような情報を発信すべき／HPや広報誌を改善すべき等